

6. 発行文書履歴

78K0シリーズ用インサーキット・エミュレータIE-78K0-NS, IE-78K0-NS-A 使用制限事項一覧

文書番号	発行日	記事
SBG-T-0864	1998.11.16	IE-78K0-NS 新規不具合追加(No.7)
SBG-T-0976	1999.2.19	IE-78K0-NS 新規不具合追加(No.9 ~ No.12)
SBG-T-1536	1999.3.08	IE-78K0-NS-A 新規不具合追加(No.8, No.22, No.23, No.38)
SBG-T-1692	1999.7.19	IE-78K0-NS 新規不具合追加(No.16 ~ No.22, No.24, No.25)
SBG-T-1694	1999.7.19	IE-78K0-NS-A 新規不具合追加(No.16 ~ No.22, No.24, No.25)
SBG-T-1779	1999.10.04	IE-78K0-NS 新規不具合追加(No.27 ~ No.33)
SBG-T-1781	1999.10.08	IE-78K0-NS-A 新規不具合追加(No.26 ~ No.33)
SBG-T-1841	1999.11.25	IE-78K0-NS 新規不具合追加(No.33 ~ No.35, No.37)
SBG-T-1842	1999.11.25	IE-78K0-NS-A 新規不具合追加(No.33 ~ No.35, No.37)
SBG-T-2047	2000.6.09	IE-78K0-NS 新規不具合追加(No.40 ~ No.43)
SBG-T-2048	2000.6.09	IE-78K0-NS-A 新規不具合追加(No.40 ~ No.43)
SBG-T-2162	2000.10.06	IE-78K0-NS 新規不具合追加(No.44, No.45)
SBG-T-2164	2000.10.06	IE-78K0-NS-A 新規不具合追加(No.44, No.45)
SBG-TT-0167	2002.7.29	IE-78K0-NS 新規不具合追加(No.46, No.47)
SBG-TT-0168	2002.7.29	IE-78K0-NS-A 新規不具合追加(No.46, No.47)
SBG-DT-04-0132	2004.4.20	IE-78K0-NS, IE-78K0-NS-A 新規不具合追加(No.48 ~ No.51)
ZBG-CD-04-0055	2004.8.18	IE-78K0-NS, IE-78K0-NS-A 新規不具合追加(No.52, No.53)
ZBG-CD-05-0039	2005.5.16	IE-78K0-NS, IE-78K0-NS-A 新規不具合追加(No.54, No.55)

以上

IE-78K0-NS, IE-78K0-NS-A 使用上の注意

1. 製品バージョン

IE-78K0-NS		備考
管理記号 ^注		
A		
B		
C		
D		
E		
F		
G		
H		
J		
K		
L		
M		
N	n	
P	p	
R	r	

IE-78K0-NS-A			備考
管理記号 ^注			
A			
B			
C			
D			
E			
F			
G			
H	h		
J	j		

注) 管理記号とは、ご購入時(バージョンアップを行っていない場合)は、製品添付の保証書に記載されている10桁のシリアル・ナンバーの左から2桁目の記号です。バージョンアップを行っている場合は、バージョン・アップ・ラベルが本体に貼ってあり、その中に記載されている **V-UP LEVEL X** の **X** が管理記号になります。管理記号“ I ”、“ O ”、“ Q ”は存在しません。

< IE-78K0-NS の場合 >

- 管理記号“ M ”に加えて78K0 Executer がV2.7であれば管理記号“ N ”です。
- 管理記号“ M ”又は“ N ”に加えて78K0 Executer がV2.8であれば管理記号“ P ”です。
- 管理記号“ M ”, “ N ”又は“ P ”に加えて78K0 Executer がV2.9であれば管理記号“ R ”です。
- 管理記号“ n ”に加えて78K0 Executer がV2.8であれば管理記号“ p ”です。
- 管理記号“ n ”又は“ p ”に加えて78K0 Executer がV2.9であれば管理記号“ r ”です。
- 管理記号“ n ”と管理記号“ N ”は同等機能です。
- 管理記号“ p ”と管理記号“ P ”は同等機能です。
- 管理記号“ r ”と管理記号“ R ”は同等機能です。
- 管理記号“ n ”についてはIE-780148-NS-EM1 使用上の注意の最新版をご参照ください。

< IE-78K0-NS-A の場合 >

- 管理記号“ F ”に加えて78K0 Executer がV2.8であれば管理記号“ h ”です。
- 管理記号“ F ”又は“ h ”に加えて78K0 Executer がV2.9であれば管理記号“ j ”です。
- 管理記号“ G ”に加えて78K0 Executer がV2.8であれば管理記号“ H ”です。
- 管理記号“ h ”以降と管理記号“ H ”以降は以下の機能が異なります。

機能	管理記号h以降	管理記号H以降
高速規格(12MHz動作)対応	未対応	対応

78K0 Executer のバージョンは統合デバッガ ID78K0-NS のヘルプ(H) バージョン情報(A)…の操作で確認できます。

	仕様変更・追加/不具合事項	管理記号																									
		IE-78K0-NS												IE-78K0-NS-A													
		A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	R	A	B	C	D	E	F	G	H	J		
22	スナップ・データ表示に関わる不具合 1	-	-	-					-	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	スナップ・データ表示に関わる不具合 2	-	-	-					-	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	ステップ実行に関わる不具合 2	-	-	-					-	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	ステップ実行に関わる不具合 3	-	-	-					-	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	スナップ・トレースに関わる不具合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	リアルタイム RAM サンプリングに関わる不具合																										
28	ステップ実行に関わる不具合 4																										
29	“ストップ”コマンドに関わる不具合 1	-	-	-	-	-	-	-																			
30	ソフトウェア・ブレークに関わる不具合 1	-	-	-																							
31	フラッシュ・セルフ・プログラミングモードに関わる不具合 1	-	-	-																							
32	ソフトウェア・ブレークに関わる不具合 2	恒久的な制限事項																									
33	外部クロックに関わる不具合	-	-	-																							
34	Peripheral Break に関わる不具合	恒久的な制限事項																									
35	ブレーク要因の表示不具合 2	-	-	-																							
36	メモリ・サーチ, 比較機能に関わる不具合	-	-	-																							
37	フラッシュ・セルフ・プログラミングモードに関わる不具合 2	恒久的な制限事項																									
38	区間指定での実行時間測定に関わる不具合	恒久的な制限事項																									
39	“ストップ”コマンドに関わる不具合 2	-	-	-																							
40	CAN RAM エリアに関わる不具合																										
41	ウォッチドッグ・タイマに関わる不具合																										
42	外部拡張メモリに関わる不具合																										
43	IE-780958-NS-EM4 に関わる不具合																										
44	PORT50-52 に関わる不具合																										
45	動作クロックの特性の改善																										

：“不具合が該当する”又は“仕様が追加されていない” -：“不具合が該当しない”又は“仕様が追加されている”

3. 不具合及び仕様追加事項の詳細

1 外部メモリ・マッピング不具合

【内容】外部メモリ・アドレス設定する場合、8Kバイト単位以下で設定できません。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 B 以上で修正されております。

2 F I P 端子のマスク・オプション機能不具合

【内容】IE-780233-NS-EM4 使用時、F I P 端子のマスク・オプション機能（VLOAD、VSS0 のプルダウン）が正常に設定できません。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 C 以上で修正されております。

3 フラッシュ・メモリのセルフ書き込み機能不具合 1

【内容】IE-780988-NS-EM4 使用時、フラッシュ・メモリのセルフ書き込みのエミュレーションができません。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 C 以上で修正されております。

4 デバッグ起動不具合

【内容】IE-78K0-NS-P04 を使用したデバイス（ μ PD780818/0828）の場合、デバッグの起動が正常にできません。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 C 以上で修正されております。

5 シングル・ステップに関わる不具合

【内容】シングル・ステップ実行直後にリセット等でリセット・ベクタを参照した時、PC の値が不正になります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 C 以上で修正されております。

6 パフォーマンス・ボード(IE-78K0-NS-PA)に未対応

【内容】パフォーマンス・ボード(IE-78K0-NS-PA)に未対応です。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 D 以上で対応しております。

7 外部メモリの命令フェッチ不具合

【内容】IE-78K0-NS と D7881 搭載エミュレーション・ボードとの組み合わせにおいて、外部拡張エミュレーションを行った場合、外部メモリからの命令フェッチが出来ません。

（通常のメモリ・アクセスは正常に行われます。）

不具合が発生する組み合わせ対象及び対象デバイスは、以下の通りです。

・ IE-78K0-NS-P01+IE-780988-NS-EM4 : D78098x

・ IE-78K0-NS-P01+IE-780066-NS-EM4 : D78006x

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 E 以上で修正されております。

8 セクション・トレースに関わる不具合

【内容】セクション・トレースを指定して DMM やスナップ・ショット・イベントを設定すると、トレース・データが正常に表示されない場合があります。

【回避策】セクション・トレースを行う場合は、DMM やスナップ・ショット・イベントを設定しないようにしてください。DMM やスナップ・ショット・イベントを行う場合は、セクション・トレースを設定しないようにしてください。
恒久的な制限事項とさせていただきます。

9 実行時間カウンタに関わる不具合

【内容】IE-78K0-NS-PA を接続時に実行時間カウンタがオーバーフローした時、カウンタ値が不定数になります。

【回避策】回避策はございません。
IE-78K0-NS 管理記号 F 以上で修正されております。

10 IXS レジスタ操作に関わる不具合

【内容】プログラムで IXS レジスタを書き換えると SFR イリーガル・ブレイクが発生します。

【回避策】回避策はございません。
IE-78K0-NS 管理記号 F 以上で修正されております。

11 フラッシュ・メモリのセルフ書き込み機能不具合 2

【内容】ID78K0-NS V1.xx (16bit ID) 使用時にフラッシュ・セルフ書き込みのエミュレーションが出来ません。

【回避策】回避策はございません。
IE-78K0-NS 管理記号 G 以上で修正されております。

12 ファン未実装

【内容】ファン未実装です。IE-78K0-NS-PA+IE-78K0-NS-P04 構成時、熱対策としてファンが必要になりました。

【回避策】回避策はございません。
IE-78K0-NS 管理記号 G 以上で修正されております。

13 タイマ・ウィンドウの区間計測に関わる不具合

【内容】「Go-Non Break」実行中でトレーサ停止中にタイマ・ウィンドウの区間計測を停止できません。

【回避策】回避策はございません。
IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

14 デバッガ起動に関わる不具合

【内容】IE-780835-NS-EM4 接続時にデバッガが起動できません。

【回避策】回避策はございません。
IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

15 ブレイク要因の表示不具合 1

【内容】外部センス・イベント、タイマ・ウィンドウのタイムアウト時間測定でブレイクした場合、間違った他のブレイク名を表示します。

【回避策】回避策はございません。
IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

16 メモリ・データ表示不具合

【内容】内部高速 RAM 空間にリアルタイム RAM モニタを設定しブレイク中にメモリ変更した場合、次に実行した時メモリ・データ表示が不定になる場合があります。

【回避策】プログラムでデータを Write した時に正常になります。
IE-78K0-NS 管理記号 H 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

17 “ブレイクせずに実行”に関わる不具合 1

【内容】IE-78K0-NS-PA 或いは IE-78K0-NS-A 使用時に、“ブレイクせずに実行”で、タイマ・ダイアログの「Time Out Break」の設定によるブレイクや、外部センス・イベントの設定によるブレイクが発生しません。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 H 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

18 “ブレイクせずに実行”に関わる不具合 2

【内容】IE-78K0-NS-PA 或いは IE-78K0-NS-A 使用時に、“ブレイクせずに実行”中にセクション・イベント関係の設定変更した場合、トレースのスタート/エンドが正常に動作しない場合があります。

【回避策】ブレイクさせてから設定変更をしてください。

IE-78K0-NS 管理記号 H 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

19 外部拡張モード不具合

【内容】IE-780988-NS-EM4 接続時に外部拡張モードになりません。(端子はポートのままです。)

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 H 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

20 メモリ・ウィンドウや変数ウィンドウの表示データに関わる不具合

【内容】メモリ・ウィンドウまたは変数ウィンドウでリアルタイム RAM モニタ設定した空間のデータを表示している場合、ブレイク後のメモリ・ウィンドウや変数ウィンドウの表示データが更新されません。

【回避策】リドロ処理(ウィンドウをいったん閉じて開き直すなど)を行ってください。

IE-78K0-NS 管理記号 H 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

21 ステップ実行に関わる不具合 1

【内容】ステップ実行(ステップイン, ネクストオーバー, スローモーション)中に“ストップ”を行った場合、デバッガがハングアップします。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 H 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

22 スナップ・データ表示に関わる不具合 1

【内容】IE-78K0-NS-PA 或いは IE-78K0-NS-A 使用時、スナップ・ショット指定に 16bit ペア・レジスタを指定した場合、トレース・データのスナップ・データが、ロウ/ハイ(各 8bit)が逆になります。

例) AX を指定 トレース・データの A, X レジスタの値が逆になります。

【回避策】8bit レジスタを指定してください。

IE-78K0-NS 管理記号 H 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

23 スナップ・データ表示に関わる不具合 2

【内容】IE-78K0-NS-PA 或いは IE-78K0-NS-A 使用時、スナップ・ショットを設定して「ブレイクせずに実行」を実行後“ストップ”で中断すると、その後トレース・データのスナップ・データ表示が出なくなります。

【回避策】スナップ・ショットを行う場合は「継続して実行」を実行してください。

IE-78K0-NS 管理記号 H 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

24 ステップ実行に関わる不具合 2

【内容】メモリ・ウィンドウ又は変数ウィンドウでリアルタイム RAM モニタ設定した空間のデータを表示している場合、ブレイク後、ステップ実行を行うと“Send time out”または“Receive time out”になる場合があります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 H 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

25 ステップ実行に関わる不具合 3

【内 容】デバッガのウィンドウを多く開いているとステップ実行などの処理速度が遅くなります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 H 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

26 スナップ・トレースに関わる不具合

【内 容】スナップ・トレースが 1 フレーム多く出ることがあります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

27 リアルタイム RAM サンプリングに関わる不具合

【内 容】リアルタイム RAM サンプリング時、不正データが書き込まれる場合があります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 J 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

28 ステップ実行に関わる不具合 4

【内 容】ステップ実行後トレースクリアを行い続いてステップ実行を行った場合、トレース・データが不正になります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 J 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

29 “ストップ” コマンドに関わる不具合 1

【内 容】プログラム実行中に“ストップ”を行ったとき、デバッガがハングアップする場合があります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 J 以上で修正されております。

(管理記号 A, B, C, D, E, F, G は該当しません。)

30 ソフトウェア・ブレークに関わる不具合 1

【内 容】ソフトウェア・ブレークポイントを 1 箇所以上設定しプログラム実行した後、更にソフトウェア・ブレークポイントを複数箇所に設定した場合、最後に設定した 1 箇所しか有効になりません。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 J 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

31 フラッシュ・セルフ・プログラミングモードに関わる不具合 1

【内 容】フラッシュ・セルフ・プログラミングモード時、ブレーク動作が不正になります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 J 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 B 以上で修正されております。

32 ソフトウェア・ブレークに関わる不具合 2

【内 容】ソフトウェア・ブレークを設定したアドレスにプログラムまたは DMM で“00”をライトした場合、ブレーク時のデータがプログラム実行前の値に戻ります。

【回避策】プログラム実行中に書き換えを行うメモリ・アドレスにソフトウェア・ブレークを設定しないでください。

恒久的な制限事項とさせていただきます。

33 外部クロックに関わる不具合

【内 容】ターゲット未接続時(外部クロックが入力されていないとき) デバッガのコンフィグレーション・ウィンドウで“External clock”を選択して“OK”ボタンを押したとき、デバッガがハングアップします。

【回避策】ターゲット未接続時は、“Internal clock”を選択してください。

IE-78K0-NS 管理記号 K 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 C 以上で修正されております。

34 Peripheral Breakに関わる不具合

【内容】デバッガの周辺動作設定エリア (Peripheral Break) を “Break” に選択し、サブ・クロックをメイン・クロックとして使用した場合、ブレークしても、周辺エミュレーション・チップの動作が停止しません。

【回避策】回避策はございません。恒久的な制限事項とさせていただきます。

35 ブレーク要因の表示不具合 2

【内容】ステップ実行後、停止したアドレスにイベント・ブレークが設定してある場合、ブレークの原因がイベント・ブレークとなります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 K 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 C 以上で修正されております。

36 メモリ・サーチ, 比較機能に関わる不具合

【内容】メモリ・サーチ又はメモリ比較を行ったとき、一部サーチできない又は、一部不一致データを検出できない場合があります。また、データが多い場合、処理速度が遅くなります。また、メモリ・サーチ中又はメモリ比較中に “Stop” ボタンを押しても終了しません。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 K 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 C 以上で修正されております。

37 フラッシュ・セルフ・プログラミングモードに関わる不具合 2

【内容】フラッシュ・セルフ・モード中は、4個のアクセス・イベントのうち、1つ消費するという制限があります。従ってフラッシュ・セルフ・モード切り替え時にはデバッガ側で上記イベントをいったん解除し、最大3イベントの設定にしてください。フラッシュ・セルフ・モード中、ブレーク設定以外でいったんブレークし、再開する処理が入る場合があります。従って時間測定結果、トレース・データ、パス・カウントが一部不正になります。

【回避策】回避策はございません。恒久的な制限事項とさせていただきます。

38 区間指定での実行時間測定に関わる不具合

【内容】区間指定での実行時間測定中に DMM やスナップ・ショットが発生するような設定を行うと実行時間測定値が実際の値より大きくなります。

【回避策】実行時間測定区間中には DMM やスナップ・ショットを指定しないようにしてください。

恒久的な制限事項とさせていただきます。

39 “ストップ” コマンドに関わる不具合 2

【内容】ユーザープログラム実行中に “ストップ” を行うとデバッガがハングアップする可能性があります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 K 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 C 以上で修正されております。

40 CAN RAM エリアに関わる不具合

【内容】IE-78K0-NS-P04 接続時、CAN RAM エリアに正しくリード/ライトできない場合があります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 L 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 D 以上で修正されております。

41 ウォッチドッグ・タイマに関わる不具合

【内 容】IE-780988-NS-EM4 接続時、ウォッチドッグ・タイマ・モード 1 (WDTM3=0, WDTM4=1) に設定し、ウォッチドッグ・タイマ割り込み (INTWDT) が発生しても T070-75 端子の出力が停止しません。本不具合を修正するためには、DF780988 の V1.02 以上が必要になります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 L 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 E 以上で修正されております。

42 外部拡張メモリに関わる不具合

【内 容】外部拡張メモリを持つエミュレーション・ボード (IE-780034-NS-EM1, IE-780078-NS-EM1 のみ) 接続時、PM4=0h を設定しないと外部拡張メモリ領域 xx24h に対して正しくリード/ライトできません。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 L 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 E 以上で修正されております。

43 IE-780958-NS-EM4 に関わる不具合

【内 容】IE-780958-NS-EM4 接続時、サブ・クロック動作について以下の ~ で動作させると、デバッガがハングアップします。

ユーザープログラムで PCC=10H を実行後、イベント・ブレイクさせる。

ユーザープログラムで PCC=10H を実行後、強制ブレイクさせる。

S F R ウィンドウ上で PCC=10H と設定した後、RUN 実行する。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 L 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 E 以上で修正されております。

本不具合を修正するためには、DF780958 もあわせてバージョンアップを行ってください。

修正バージョンに関しては、弊社にお問い合わせ願います。

44 PORT50-52 に関わる不具合

【内 容】エミュレータの電源が投入された状態でデバッガが起動していないときに、PORT50 - 52 から Hi レベルが出力されます。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 M 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 F 以上で修正されております。

45 動作クロックの特性の改善

【内 容】エミュレータ内で使用している動作クロックの特性を改善しました。

【回避策】IE-78K0-NS 管理記号 M 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 F 以上で改善されております。

46 デバイス高速化規格に対応

【内 容】次の対象デバイスの仕様変更（高速化規格：12MHz 動作）に対応しました。

<対象デバイス>

- ・ μ PD780024A, 780024AY, 780034A, 780034AY サブシリーズ
- ・ μ PD780078, 780078Y サブシリーズ
- ・ μ PD780988 サブシリーズ

<対象エミュレーション・ボード>

- ・ IE-780034-NS-EM1（管理記号 J 以上）
- ・ IE-780078-NS-EM1（管理記号 D 以上）
- ・ IE-780988-NS-EM4（管理記号 B 以上） + IE-78K0-NS-P01（管理記号 D 以上）
（DF780988：V1.03（または E1.03）以上）

ただし、製品ごとに以下の制限がございます。

IE-78K0-NS の場合

- a. 製造番号（シリアル No.）の左から 2 桁目が “ A ~ C ” の製品は未対応です。
（管理記号 D 以上にバージョンアップしても未対応です。）

IE-78K0-NS	12MHz 対応
製造番号（シリアル No.）の左から 2 桁目が A ~ C の製品	対応不可
製造番号（シリアル No.）の左から 2 桁目が D 以上の製品	対応可能

- b. 12MHz 対応可能品で 10MHz 以上の動作を行った場合、トレース機能が正常に動作しないことがあります。

IE-78K0-NS	トレース機能不具合
管理記号 D ~ M	該当
管理記号 N 以上	該当しない

- c. 全てのバージョンにおいて IE-78K0-NS-PA を接続した場合、12MHz 対応が未対応となります。

IE-78K0-NS-A の場合

- a. 製造番号（シリアル No.）の左から 2 桁目が “ A ~ F ” の製品は未対応です。
（管理記号 G 以上にバージョンアップしても未対応です。）

IE-78K0-NS-A	12MHz 対応
製造番号（シリアル No.）の左から 2 桁目が A ~ F の製品	対応不可
製造番号（シリアル No.）の左から 2 桁目が G 以上の製品	対応済

【回避策】 IE-78K0-NS 管理記号 N 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 G 以上で改善されております。

47 クロック切り替え動作に関わる不具合

【内 容】サブ・クロックによる動作中、以下のプログラムのようにメイン・クロックを停止し、サブ・クロックからメイン・クロックへの切り換えた場合、対象デバイス（サブ・クロックを備えた製品）と IE システムで動作が異なります。

SET1 PCC.7H メイン・クロック停止

CLR1 PCC.4H メイン・クロックに切り替え

<対象デバイス>

でメイン・クロックが停止するので、 で切り替わりません。

<IE システム>

でメイン・クロックが停止しないため、 でメイン・クロックに切り替わってしまいます。

【回避策】回避策はございません。恒久的な制限事項とさせていただきます。

48 エラーメッセージの誤表記不具合

【内容】IE-78K0-NS-PA 或いは IE-78K0-NS-A 使用時、タイマ・イベントによる実効時間測定後、Initialize ボタンを押して結果を消去して、再びプログラム実行を行ってブレークすると、「EX_SE_NONTIMER」というエラーメッセージがでる場合があります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 P 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 H 以上で修正されております。

49 ROM レス・マイコンに関わる不具合

【内容】ROM レス・マイコン(D78070 等)使用時、ターゲット・メモリにマッピングしても CPU Reset を実行するとターゲット・メモリのリセット・ベクタを参照せず不正領域にジャンプします。

【回避策】IE-78078-NS-EM1 ユーザーズ・マニュアル(U14741J)の 1.4 章「μPD78070A,78070AY 開発時の注意」をご参照ください。

IE-78K0-NS 管理記号 P 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 H 以上で上記マニュアルの(1)、(3)は修正されております。(2)は制限事項となります。

50 メモリ・バンク機能に対応

【内容】メモリ・バンク機能に対応しました。

【回避策】IE-78K0-NS 管理記号 P 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 H 以上で改善されております。

51 10MHz 以上動作不具合

【内容】IE-78K0-NS-A 使用時、10MHz 以上のエミュレーションが出来ません。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS-A 管理記号 H 以上で修正されております。

52 メモリ・バンク設定に関わる不具合

【内容】動作クロックが低速(240KHz 以下)かつメモリ・バンク設定を有効(「オプション(O)」)「拡張オプション(X)」、Memory Bank: On に設定)にした場合、ソフトウェア・ブレークを行うと、ブレーク要因が「Fetch Guard」となることがあります。

【回避策】回避策はございません。

IE-78K0-NS 管理記号 R 以上、IE-78K0-NS-A 管理記号 J 以上で修正されております。

53 ICE 電源投入直後に関わる不具合

【内容】ICE の電源投入から数 ms の間、低電圧エミュレーションの設定によらず、5V 動作します。IE-78K0-NS 及び、IE-78K0-NS-A の管理記号 A, B, C, D, E, F は該当しません。

【回避策】ICE の電源を投入後、しばらくしてからデバッガを起動してください。

IE-78K0-NS-A 管理記号 J 以上で修正されております。

54 ソフトウェア・ブレークに関わる不具合 3

【内容】割り込み要求発生により参照するベクタ・アドレス(分岐先のアドレス)にソフトウェア・ブレークを設定しブレークした場合、トレース結果に「Fetch Guard」と表示されてしまいます。(ブレーク要因のステータス・バーには「Fetch Break」と表示されます)

【回避策】実際にはソフトウェア・ブレークで停止しているので「Fetch Guard」を「Software Break」と読み替えて使用してください。

回避策はございません。恒久的な制限事項とさせていただきます。

55 発振安定時間に関わる不具合

【内容】

発振安定時間選択レジスタ(OSTS)で選択される発振安定時間は、実デバイスの仕様と異なり2倍掛かってしまいます。

例) μ PD780024, μ PD780034 サブシリーズの場合

発振安定時間選択レジスタ(OSTS)			STOPモードの解除時の発振安定時間の選択								
OSTS2	OSTS1	OSTS0	IE-780034-NS-EM1			μ PD780024, μ PD780034 サブシリーズ					
				fx=4MHz	fx=8.38MHz	fx=12MHz		fx=4MHz	fx=8.38MHz	fx=12MHz	
0	0	0	$2^{13}/fx$	2.05ms	977us	683us	$2^{12}/fx$	1.02ms	488us	341us	
0	0	1	$2^{15}/fx$	8.19ms	3.91ms	2.73ms	$2^{14}/fx$	4.10ms	1.95ms	1.36ms	
0	1	0	$2^{16}/fx$	16.4ms	7.81ms	5.46ms	$2^{15}/fx$	8.19ms	3.91ms	2.73ms	
0	1	1	$2^{17}/fx$	32.8ms	15.6ms	10.9ms	$2^{16}/fx$	16.4ms	7.82ms	5.46ms	
1	0	0	$2^{18}/fx$	65.5ms	31.3ms	21.8ms	$2^{17}/fx$	32.8ms	15.6ms	10.9ms	
上記以外			設定禁止								

備考 1. Fx: メイン・システム・クロック発振周波数を示します。

2. 発振安定時間選択レジスタ(OSTS)の設定値はリセット入力により04Hになります。

<対象エミュレーション・ボード>

- IE-78048-NS-EM1
- IE-78098-NS-EM1
- IE-780034-NS-EM1
- IE-780066-NS-EM4
- IE-780078-NS-EM1
- IE-780208-NS-EM1
- IE-780233-NS-EM4
- IE-780338-NS-EM1
- IE-780354-NS-EM1
- IE-780701-NS-EM1
- IE-780818-NS-EM4
- IE-780828-NS-EM4
- IE-780831-NS-EM4
- IE-780835-NS-EM4
- IE-780841-NS-EM4
- IE-780852-NS-EM4
- IE-780948-NS-EM4
- IE-780974-NS-EM1
- IE-780988-NS-EM4
- IE-780994-NS-EM4
- IE-178048-NS-EM1
- IE-178054-NS-EM1
- IE-178098-NS-EM1
- IE-178134-NS-EM1

発振安定時間選択レジスタ(OSTS)で選択される発振安定時間は、発振モード選択レジスタ(OSMS)で分周回路を使用しない場合(MCS=1の場合)、実デバイスの仕様と異なり2倍掛かってしまいます。

<対象エミュレーション・ボード>

- IE-78078-NS-EM1
- IE-780308-NS-EM1
- IE-178018-NS-EM1

【回避策】回避策はございません。恒久的な制限事項とさせていただきます。

4 . 注意事項

4-1 本製品の取り扱いに関する一般的な注意事項

a. 製品保証外となる場合

- ・本製品をお客様自身により分解，改造，修理した場合
- ・落下，倒れなど強い衝撃を与えた場合
- ・過電圧での使用，保証温度範囲外での使用，保証温度範囲外での保存
- ・電源，PC インタフェース・ケーブル，ターゲット・システムとの接続が不十分な状態で電源を投入した場合
- ・電源のケーブル，PC インタフェース・ケーブル，エミュレーション・プローブなどに過度の曲げ，引っ張りを与えた場合
- ・システム構成で記載されている電源以外を使用した場合
- ・本製品を濡らしてしまった場合
- ・本製品の GND とターゲット・システムの GND に電位差がある状態で本製品とターゲット・システムを接続した場合
- ・本製品の電源投入中にコネクタやケーブルの抜き差しを行った場合
- ・コネクタやソケットに過度の負荷を与えた場合

b. 安全上の注意

- ・長時間使用していると，高温（50～60 程度）になることがあります。低温やけどなど，高温になることによる障害にご注意ください。
- ・感電には十分注意をしてください。上記，a.製品保証外となる場合

以上